

# 平成 26 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	健康長寿課					
基本構想	生活の質の向上と定住人口の確保		重点的方針	1. 高齢者の安心な暮らし支援				
分野別方針	(2)介護予防・生活支援サービスの推進		実施計画事業	1)介護予防推進事業(No.2)				
予算等事業名	地域支援任意事業							
目的	介護保険法に位置づけられた事業であり、高齢者が介護状態に陥ることなく、健康な生活を続けることが出来るように、予防事業等を通して支援する。							
内容	家族介護支援や成年後見制度普及など、地域支援事業の必須事業に含まれない事業に係る経費							
根拠法令・条例等	介護保険法							
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか								
<input type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている		<input type="checkbox"/>	③ 未実施	
②、③に対する理由								

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる			<input type="checkbox"/>	② 削減は困難			
理由								

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる			<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難			
理由								

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 計画未実施のため継続の必要性がない(休止・廃止)						
	【説明】						

## 総合評価

実績	シルバー緊急通報システム事業委託先への補助金、介護相談員への謝礼、成年後見人に対する謝礼。						
中間評価との相違点	—						
事業指標(数値指標)	—						
前期(27年度)目標値	—			【目標値の根拠または数値で表わせない指標】			
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度	高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の目標値より			
	181						

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		6,928	5,636				
財源内訳	一般財源						
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 高齢化が進む中、独居高齢者及び高齢世帯も急増、高齢者福祉サービスが必要不可欠であり、今後更なる需要が多くなると考えられることから、公費の投入は妥当である。	
	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	C
	【説明】 ニーズに応えるため、委託は妥当と考える。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	A
	【説明】 高齢化及び独居高齢者も増加とともに、利用者も増加しており、成果は上がっているものと思われる。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 低所得者等の負担軽減を図るためやむを得ないものである	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 低所得者及び独居高齢者等の支援が図られている	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	今後も引き続き低所得者及び独居高齢者のサービスの適正な運用を図る。	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	高齢者が住み慣れた地域で安心して生活が継続出来るよう、介護保険事業の運営の安定化のための介護相談員派遣事業や自立した日常生活の支援のためのシルバー緊急通報システム事業などは今後ともますます必要となるため。		
今後の方向性	独居高齢者や高齢者のみ世帯の増加、認知症高齢者の増加などにより高齢者の見守りシステムの需要はますます増えてくると考えられるので、現在のシステムも含め今後とも効果的な高齢者の見守りシステムの検討が必要になってくる。		